

NSF、2008年の米国企業による研究開発費に関する報告書を発表（8月22日）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）は8月22日、2008年の米国企業における研究開発拠出額に関する報告書「米国企業における研究開発費の40%は医療及び防衛分野に拠出（Health and Defense Applications Account for 40% of Business R&D in the United States）」を発表した。

本報告書によると、2008年の米国企業による研究開発費総拠出額2,907億ドルのうち、医療分野への拠出が761億ドル、防衛分野への拠出が415億ドルであったとのことで、これら2分野の合計は全体の40%に相当するという。

また、医療分野における研究開発費の86%以上は、研究開発を実施した企業からの拠出であった一方、防衛関連の研究開発費のほとんどは、連邦政府からの助成金であったことが明らかにされている。

さらに、企業が負担した医療分野の研究開発の3分の2は、製薬及び医療業界企業によって行われていた一方で、防衛分野の企業負担研究開発は、コンピューター及び電子製品製造業界もしくは航空宇宙業界の企業によって行われたことも示されている。

なお、本報告書は<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12329/>>からダウンロード可能。

National Science Foundation, NSF Reports on R&D Spending by Businesses in the United States

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125240